埋設廃棄物もリサイクル
TEL/03-3208-5047
http://www.shinwa-eco.com
『埋設廃棄物・汚染土壌』現場分別・処理といえば
新和環境株式会社
詳しくはWebで 新和環境 検索

発行所
60th plus1
日報ビジネス株式会社
Vision Vitality Victory
〈東京〉〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話03(3262)3488 FAX03(5214)6633
〈大阪〉〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2406 FAX06(6262)2090

6月4日 No.1396
2018年(平成30年)
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
平成元年9月22日 第3種郵便物承認
購読料(定価) 年間 22,900円+税
1部本体 495円+税

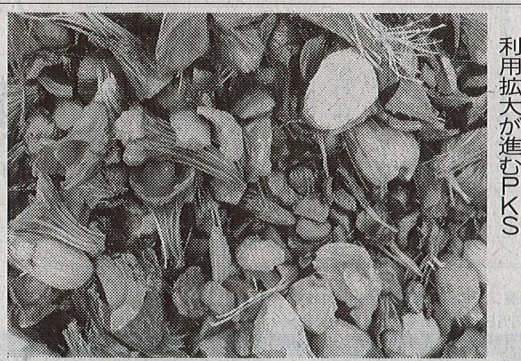
ecoたろうくんがLINE@&Facebookはじめました!
「友だち」になると、展示会・記念セミナーのお得な情報をいち早くお届け!!
LINE ID:@eco-tarokun
https://www.facebook.com/nippo.biz/
NEW環境展ECOキャラ

初のバイオマス専焼発電設備

中部電力 2020年4月の運転開始を目指す

中部電力は、四日市火力発電所（三重県四日市市）の構内で、同社初となるバイオマス燃料専焼の発電設備の建設工事を開始した。燃料には木質ペレットやパームヤシ殻（PKS）を使用し、発電出力は4万9000キロワットを予定。年間発電電力量は一般家庭の約12万世帯分に相当する年間3億8000万キロワット時と想定している。2020年4月の運転開始を目指す。

この四日市火力発電所バイオマス発電設備は、再生可能エネルギー開発の一環として計画されたもので、発電時のCO_2排出量の削減効果は年間約16万トンを見込んでいる。燃料の年間使用量は、木質ペレットが約15万トン、PKSは約7万トンで、海外から調達する。


木質バイオマス発電の燃料として利用拡大が進むPKS

同社は木質バイオマスの燃料利用率を大幅に高めていく方針で、愛知県武豊町で22年3月に運転開始の「武豊火力発電所5号」（出力107万キロワット）では、年に約50万トンの木質ペレットを使用し、混焼率約17%（発熱量比）を実現する予定。碧南火力発電所（愛知県）では、すでに年間7万トンの混焼発電を実施している。

廃ガラスで鳥インフル防疫剤

ランドベル 世界初、新素材の開発

産廃の収集運搬と廃ガラスのリサイクルで実績を持つランドベル（広島県尾道市、藤川太一社長）は、京都産業大学鳥インフルエンザ研究センターと共同で、鳥インフルエンザウイルス防疫対策に効果のある新素材の開発に成功した。

新素材「PIリキッド」は、廃ガラスを粉砕・焼成・無害化したリサイクル製品「スーパーソル」を使って人工ゼオライトに加工し、さらに特殊加工を施したもの。鳥インフルエンザ防疫剤として役立つことを確認。廃ガラスから防疫剤の開発に成功したケースは世界初となった。

PIリキッドを鳥インフルエンザウイルスに接触させるとウイルスは、10分間で10万分の1以下に減少。即効性と散布後10日間程で分解される特徴を持つことから同製品は、自然環境下で早期に分解され、毒性の心配もない。pH7の中性でもあり、安心安全で誰にでも簡単に取り扱いができる。国内外で特許申請済みで、一部で国内販売も始まった。国内はもとより海外からの問い合わせもあり、商社経由などで話も進んでいる。

同社の岡山工場（岡山県笠岡市、☎0865・66・1101）は、廃ガラスを原料にした人工軽石の製造拠点として、一昨年前に工業団地内に建設した。敷地面積1000坪、建屋330坪、施設は、1日（8時間）25立方メートルの軽石状の多孔質軽量発泡資材（スーパーソル）を生産できる。スーパーソルは、軽量を生かした緑化資材や土木分野での軽量盛土材、農業分野でも水はけを良くする働きがあり、暗渠排水資材・土壌改良材、鉢底石にも活用される。日本テレビ・鉄腕ダッシュ内の新宿ダッシュで、屋上緑化用軽量盛土向けで使用されたこともある。水質・汚水浄化・家畜糞尿浄化の資材、建築分野でも断熱材などの幅広い用途があり、日本国内だけでなく、海外でも使用例が増えている。今回のように、同素材から鳥インフルエンザウイルス防疫対策に効果があると認められた例は今までにない。

低濃度 PCB 廃棄物処理
OHNO オオノ開發株式会社
0120-504-177
オオノ・アソシエーツ 検索
nature for the Future

価方法書と、その要約書の縦覧を始めた。香川県環境森林部環境政

規模のバイオマス専焼火力発電所を新たに整備するものだ。発電効率は約38%（発電端・LHV）を予定。敷地面積は4万3600平方メートルで、うちプラント用地には1万5380平方メートル、燃料ストックヤードには7940平方メートルを使う。着工から運転開始までは約2年を見込む。

燃料には、主にPKS（パームやし殻）と木質ペレット（製材副産物を圧縮成型した固形燃料）を活用。それぞ